

令和6年6月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

令和6年（2024年）6月26日（水）午前9時から正午まで

2 場 所

中央公民館 学習室5

3 議 題

（1）協議（審議・検討）

議案第30号 就学援助費の支給認定について

議案第31号 令和6年度長野県市町村教育委員会連絡協議会表彰の被表彰候補者の推薦について

議案第32号 校務用PCの更新について

議案第33号 東部地区小学校給食センター建設検討委員会公募委員の選任について

議案第34号 社会教育委員の選任について

（2）重点取り組み

ア 不登校対応について

イ いじめの状況等について

ウ 学校ICT教育について

エ 幼保小の連携について

（3）報告

ア 教育課

（ア）部活動の地域移行について

（イ）SOSメール受付状況について

（ウ）滋野児童館建設について

（エ）新任教職員人権同和教育研修について

イ 地域づくり支援課

（ア）令和6年度東御市二十歳を祝う会について

（イ）令和6年度夏休みジュニア・チャレンジ講座について

4 出席者

○教育長

山口千春

○教育委員

教育長職務代理者

小林 経 明

委員

直井良一

委員

五十嵐 英 美

委員

小林利佳

委員

富岡 志津子

○その他

深井教育次長、土屋教育課長、春原保育課長、柳橋地域づくり支援課長、

高野学校教育係長、小宮山学校施設係長、池田学校人権同和教育係長、

小林保育係長、

長岡指導主事、畑田指導主事、岡澤指導主事、

塚田学校教育係主事

会議録

深井教育次長

ただいまから、6 月度定例教育委員会を始めます。それでは、教育長から開会宣告をお願いします。

山口教育長

それでは、6 月度定例教育委員会を始めます。

深井教育次長

続きまして、教育長あいさつをお願いします。

山口教育長

本日はお集まりいただきありがとうございます。

6 月 6 日の小学校の運動会は、前日に雨が降り、開催が心配されましたが、グラウンド整備のため滋野小学校が 1 時間遅れて開始されたこと以外は、計画通り実施できました。教育委員の皆様にはご担当の小学校の運動会へ行って、子どもたちや先生方の姿を見ていただき、ありがとうございました。来年度に向けて、何かお気づきの点などありましたら、お伝えください。

私は 5 小学校を、20～30 分程度見ました。一人一人の子どもたちが生き生きと走ったり表現活動をしたりしている姿がとても印象的でした。最後に行った和小学校では、閉会式まで見ました。そこでは大きなドラマがありました。運動会の感想を指揮台に上って何人かの児童が発表した後、療養中の宮下校長に全校の子どもたちから大きな声でエールを送ったのです。当日、ご家族が見学に来ていて、運動会の様子を宮下校長へライブ配信をしていました。ご家族はエールを受けて、目頭を押さえていました。運動会の後も、「本当にありがとうございました」と私に深々と頭を下げてくださいました。心が温まり、感動的な運動会で、子どもたちにとって大きな学びの場となりました。他の小学校でも大きな充実感・満足感が得られた貴重な体験となったと思います。学校ではふり返りをして、来年度の方向を決めていくかと思います。

さて、6 月議会が始まり、私も議会デビューをしました。「教育長の所信」表明を求められたので、私の教員時代の信念だった「自己肯定感」と「多様性」については少し丁寧に答弁しました。「自己肯定感＝ありのままの自分を肯定し、自身を好意的に受け止めることができる感覚」を持って、「多様性＝ある集団の中に異なる特徴・特性を持つ人がともに存在すること」を認め合える園・学校を皆さんと手を取り合って実現させたいという願いです。そのあと、本年度の 4 つの重点取り組み：不登校対応、いじめ対応、学校 ICT 教育、

幼保小の連携について説明をしました。

その他にも、「児童館・児童クラブの環境整備」「東部地区小学校給食センター・学校給食について」「小学校校舎の長寿命化」「不登校児童の現状」「学校 ICT 教育の状況」「環境教育の取り組み」「子育て支援施策」「幼保小連携」「保育料軽減事業の拡充について」「中学校部活動の地域移行について」等、たくさんの質問が出されました。

「自己肯定感」と「多様性」にも関わりますが、校長会、教頭会で毛涯章平先生の『わが教師十戒』を示し、校長・教頭自身のふり返りや、子どもや教員を見る「見方」の一つとしてほしい旨を話しました。

- 一 子どもを、こばかにするな。教師は、無意識のうちに子どもを目下の者と見てしまう。子どもは、一個の人格として対等である。
 - 二 規則や権威で、子どもを四方から塞いでしまうな。必ず一方を開けてやれ。さもないと、子どもの心が窒息し、枯渇する。
 - 三 近くにきて、自分を取り巻く子たちの、その輪の外にいる子に目を向けてやれ。
 - 四 ほめることばも、しかることばも、真の「愛語」であれ。「愛語」は、必ず子どもの心にしみる。
 - 五 暇をつくって、子どもと遊んでやれ。そこに、本当の子どもが見えてくる。
 - 六 成果を急ぐな。裏切られても、なお、信じて待て。教育は根くらべである。
 - 七 教師の力以上には、子どもは伸びない。精進をおこたるな。
 - 八 教師は「清明」の心を失うな。ときには、ほっとする笑いと、安堵の気持ちをおこさせる心やりを忘れるな。不機嫌、無愛想は、子どもの心を暗くする。
 - 九 子どもに、素直にあやまれる教師であれ。過ちは、こちらにもある。
 - 十 外傷は赤チンで治る。教師の与えた心の傷は、どうやって治すつもりか。
- この十戒は私自身の教員生活の心の礎にもなっていました。

教育分野にも不易流行はあると考えますが、どんなに時代が進んでも、これらは教育分野の「不易」だと私は感じています。このような思いを持って、子どもに寄り添える先生に教壇に立ってほしいと願っています。

いよいよ本格的な暑さ、夏日や真夏日が続く季節を迎えます。健康管理には十分にご留意をいただき、引き続きお力添えをいただきたいと願っております。本日も、ご意見ご助言等、よろしくお願いします。

(1) 協議（審議・検討）

山口教育長

議案第 30 号就学援助費の受給認定について説明します。

塚田学校教育係主事

説明します。（個人が特定される情報は非公開）

今年度は小中学校合わせて 266 名の申請がありました。そのうち支給要綱に基づき、要綱第 5 条第 1 項及び第 2 項アに該当する者は、小学校 123 名、中学校 76 名の合計 199 名です。学校名、児童生徒氏名及び保護者氏名については一覧に掲載しているとおりです。これらに該当しない者については、収入額と需要額をもとに判断します。市では 1.2 未満の者を就学援助費受給者として内規で定めていますが、該当する 39 名を認定してよいでしょうか。また、1.2 以上の者は 24 名が該当しますが、不認定としてよいでしょうか。なお、書類不備により 4 名については今回の定例教育委員会では判断できませんので、次回以降に判断をお願いしたいと思います。

山口教育長

この内容について、個人情報との関係もありますので、秘密会としたいと思います。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、秘密会ということをお願いします。

続きまして、議案第 31 号令和 6 年度長野県市町村教育委員会連絡協議会表彰の被表彰候補者の推薦について、説明を求めます。

高野学校教育係長

説明します。協議会事務局から推薦の依頼がありました。長野県市町村教育委員会連絡協議会表彰規程第 2 条第 1 項第 1 号「市町村教育委員会の教育長でその職に 1 期以上あって退任した者」とあります。5 月に退任された小山前教育長が被表彰候補者として要件を満たしていますので、事務局では推薦してはどうかと考えています

山口教育長

今の説明についてご意見等ありますでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、事務局案をお願いします。

続きまして、議案第 32 号校務用 PC の更新について、説明を求めます。

高野学校教育係長

説明します。先月の定例教育委員会でも補正予算についてご説明させていただきましたが、現行の校務用 PC とサーバのリース契約が今年の 10 月末で終了となります。そのため新たな校務用 PC とネットワークシステムの導入を検討しています。クライアント PC につきまして、タイプやサイズ等の仕様を検討しました。この仕様と同等以上のものとして、通常の校務に支障がないものになっています。

土屋教育課長

この内容につきましては、先日行われました ICT 学校支援連絡協議会のなかで議論いただき、ご承認をいただいているものになります。

山口教育長

内容については、小林職務代理も承知されているということでよいでしょうか。

土屋教育課長

そのとおりです。今回の 6 月議会にて補正予算を計上していますので、可決されたところで執行させていただきます。

山口教育長

PC の更新は 2 年間かけて実施するというものでよいでしょうか。

土屋教育課長

合計 211 台のパソコンのうち、今年度は 173 台を更新、来年度は残りの台数と現在複数人で 1 台の PC を使っているという状況もありますので、可能な限り一人 1 台使用できるような対応を考えています。

山口教育長

この内容について、いかがでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、承認ということでお願いします。

続きまして、議案第 33 号東部地区小学校給食センター検討委員会公募委員の選任につい

て、説明を求めます。

小宮山学校施設係長

説明します。(個人が特定される情報は非公開) 給食センター建設検討委員会の公募委員の選任につきましては、6月号市報とうみや教育委員会のHP、市公式LINEに掲載して6月20日まで募集していました。期間中に7名から応募をいただきました。

(応募者7名について説明)

事務局としましては、応募いただいた方の半数程度の4名程度を採用したいと考えています。委員の皆様には、公募委員の選考票をお配りしていますので採用可否についてご記入ください。

深井教育次長

6月議会の一般質問の中で、今後給食センター建設についてどういったように進めていくのかといった質問をいただいています。選考にあたっては、給食センター建設検討委員会は教育委員会が所管する委員会であることから、教育委員会の中で選考していくという回答もしていますので、今回定例教育委員会で諮らせていただいています。

(選考票の記入及び回収)

山口教育長

それでは、選考の結果、4名の委員を選任することでお願します。

続きまして、議案第34号社会教育委員の選任について、説明を求めます。

なお、本議案につきましては、事務局案に富岡委員の関係者がいらっしゃいますので、富岡委員にはご退席いただきます。

柳橋地域づくり支援課長

説明します。社会教育委員の任期が今月30日をもって満了となります。これに伴い、新たに委員を委嘱するものになります。委員は、大村裕子さん、岡田佳澄さん、柳澤秀樹さん、関桂子さん、戸堀恵二さん、富岡茂樹さん、盛野憲俊さん、塩川壽友さん、後藤富美男さん、小林俊一さんの合計10名で、地区のバランスや男女比に配慮しながら選任しています。このうち校長会から推薦されている盛野憲俊東部中学校長につきましては、任期中に異動となった場合は新たな委員に残任期間を委嘱させていただきます。このことについては、異動となった場合には改めて教育委員会に諮らせていただきます。任期は令和6年7月1日から令和10年6月30日までの4年間になります。なお、委嘱は7月9日に行われる社会教育委員会議第1回定例会にて委嘱します。

山口教育長

この内容について、いかがでしょうか。

小林職務代理

先ほど地区のバランスを考慮しているとありましたが、一部偏っているようではありますがでしょうか。以前にも地区のバランスを重視で決めていたかと思います。

小林委員

地域づくりの事業の中には役職をもって事業に携わらないといけないことがあるかと思われます。

深井教育次長

任期満了が喫緊に迫ってきているという状況の中で、地区バランスについては次回以降の検討課題とすることでいかがでしょうか。

山口教育長

事務局の説明について、いかがでしょうか。

小林職務代理

今回の委嘱につきましては各地区2名ずつということでお願いします。

他委員

異議なし。

柳橋地域づくり支援課長

今回いただいたご意見につきましては、次回以降の課題とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

山口教育長

それでは事務局案でお願いします。

続きまして、(2)重点取組みに移ります。ア 不登校対応について、説明を求めます。

長岡指導主事

ア 不登校対応について、説明します。(個人が特定される情報は非公開)

5月末現在の状況についてです。不登校の基準である30日を超えて欠席する児童生徒は小学校で3名、中学校で12名カウントされています。支援はこれまでから継続して行っておりますが、これからも目を離さずに行っていきます。この子どもたちは全休に近く、ほ

とんど学校に行っていないという状況であります。サポートセンターや教育委員会等に関わっていますが、学校で家庭訪問を行ったり支援会議を行ったり等継続していきたいと思っています。保護者の状況や家庭環境の不安定さがやはり子どもたちに影響していることが多くみられる状況であります。SSW や染野指導主事をはじめ多くの方に支援をいただいている状況です。

なお、今月から不登校の報告の際にはそれぞれの児童生徒がどこに関わりを持っているのかを記載するようにしています。

山口教育長

このことについて、いかがでしょうか。

小林職務代理

今月から新たに記載された外部とのかかわりの状況を見ると、しっかり支援していることがうかがえます。各課関係者が苦勞されていることがよくわかります。

長岡指導主事

子どもサポートセンターが開設されてから、学校は何かあったときに密に連絡を取る手段ができたと思います。その部分については、かなり働きかけができていのではないかと思います。

五十嵐委員

これまで不登校だった児童が、担任が変わったことで学校に来ることができることもあります。

小山前教育長とお話をした際に、「人は合う、合わないがある。色々な人がいるから、多くの人と関わっていけばよい」ということをおっしゃっていました。校長先生や教頭先生、担任の先生等多くの人に関わってサポートしていければと思います。

直井委員

第三の居場所「ゆめ・ぽけっと」の利用状況はどうでしょうか。

畑田指導主事

毎日何人かの利用がある状況です。不登校の子どもたちについても時間を分けて利用できるような状況のようです。個別学習を行っている児童生徒もいるようです。

山口教育長

夕飯を食べていく子どもたちも平均で5人くらいいるとお聞きしています。

このことについて、ほかにありますでしょうか。

長岡指導主事

中学校になって初めて不登校で名前が挙がる生徒もいます。家庭環境も大きく影響しており、反発をする行為が見られ、学校にも行かないような状況もあります。不登校がこの後引きこもりの状況につながってってしまう場合もあり苦しい状況ですが、そういった部分もわきまえながら可能な限りつながりをつくって関わりを持っていきたいところです。

小林職務代理

こういった対応はすぐに成果が見られず、長い目で見ていかなければいけません。

山口教育長

続きまして、イ いじめの状況等について、説明を求めます。

岡澤指導主事

イ いじめの状況等について、説明します。(個人が特定される情報は非公開)

全体的な数をみると冷やかしかからかいなどの言葉に関わること、軽くぶつかったり叩かれたりするといったことがあげられています。いずれの内容も高学年の報告であり、低学年の報告はありません。同一の児童生徒が加害者側にも被害者側にも名前が入っているものもあります。

小林職務代理

担任や周りの先生、児童生徒の疲弊度はどのような感じでしょうか。

長岡指導主事

今回の和小学校の児童については、適応支援専門員にかなり支援していただいているようです。先生方の不安を少しずつ減らしていくことができているかと思います。4月から入ってもらっていますが、徐々になれてきていることもあり、学校側としても支援が頼みやすい環境になっているかと思います。

ただ、突発的に起来てしまうため、特に担任は気をつけて対応していると思います。

小林職務代理

北御牧中学校はいかがでしょうか。

畑田指導主事

北御牧中学校も疲弊している状況ではないかと思われます。特別支援学級の担任をした

ことがない先生で、自情障学級を担任している先生が上手に対応しています。この先生は市の特別支援教育コーディネーターの代表もしている方です。

小林職務代理

わかりました。やはり細かな情報があるということは、深く関わってもらっているということがわかります。

山口教育長

引き続きよろしくお願いします。

続きまして、ウ 学校 ICT 教育について、説明を求めます。

畑田指導主事

ウ 学校 ICT 教育について、説明します。今月も、入替えが迫っている校務用 PC の不具合の対応等手厚く支援していただいています。各学校でも対応していただいているもののほか、ICT 学校支援連絡協議会で承認いただいた特別支援関係の無料アプリも使用できるように作業を進めていただいています。iPad を導入したことでそういった支援もでき、ありがたい状況です。今後活用できるようにしていきたいところであります。

小林職務代理

ICT 教育推進講師は ICT 支援が本来の業務であり、作業の補助等はまた別の方にやっていただくことがよいのではないのでしょうか。重点をどこに置くかによって異なってくるかと思います。教職員の ICT リテラシーを向上させるのであれば現在対応していただいている内容をお願いしますが、本来の学習内容にかかわる支援であればもっとやり方を変えていく必要があります。資金をかけなくてもやり方はあるかと思います。

直井委員

機器管理については業者に管理してもらっているのでしょうか。

土屋教育課長

機器管理のシステムに関わる内容については、ICT 支援員に業務委託をしています。それぞれの役割分担については、ICT 推進協議会の中で検討させていただきます。

山口教育長

続きまして、エ 幼保小の連携について、説明を求めます。

畑田指導主事

エ 幼保小の連携について、説明します。

幼保小接続委員会が7月9日（火）に開催されます。小1プロブレムや学校不適応・不登校防止対応のため、カリキュラム接続を行っていきます。昨年度モデル園・モデル校での実施を受けて、その時の情報共有をしながら検証を行っていく方向であります。昨年度のものを参考に各小学校区でカリキュラムを作成していきますが、園でも準備が進んでいる状況です。

小林職務代理

現状で、そもそも幼保小の接続に問題があるという状況なのでしょうか。

春原保育課長

これまでに問題があったという捉えではなく課題があったという状況です。それらの課題を解決するため、保育園と小学校のそれぞれが思っていることを伝え合い、話し合える場となってきています。小学校からは、「遊び」から「学習」に移行していくにあたり「これだけ是可以になるようになってきてほしい」という要望に園では寄り添わなければいけないと感じ、一方で園からは「こういう遊びが、学校ではこんな学びになるのでは」というつながりを伝えられない時期がありました。それがこの幼保小接続委員会の設置によってつながってきています。今ではとてもフラットに話し合える関係性となっています。

この4月からそれぞれの小学校区ごとに、保育園と小学校で連絡を取り合って交流が始まっております。

畑田指導主事

私立の子どもたちをどのように円滑に接続していくかが課題となっています。

春原保育課長

月に一度、保育所連絡会議という園長会議があります。公立5園、くるみ幼稚園、海野保育園、おひさまこども園の各園の園長が出席しています。その場で、幼保小接続委員会のご説明もさせていただきました。同じ東御市のお子さんを保育しているため情報共有していきたいと思っています。また、現場の職員が幼稚園の状況や他園の状況を見させていただくこともよいかと思っています。7月にも保育所連絡会議がありますので、改めてお伝えしようと思っています。

深井教育次長

このことについては、学区も影響しているのではないかと思います。幼稚園は市内全域で入ってきているものですので、学校の特色をどのように反映させるのか、園の特色をどのように反映させるのかといった部分については検討していく必要があります。

今年度課長の方からも、学区ごとに接続委員会を考えているとの説明がありましたが、その際に私立の園はどのように関わっていくのかよいかを考えていくことが必要になるかと思います。

畑田指導主事

公立保育園と学校の接続を際立ちすぎてしまうと他の園が入りづらい部分もありますので、特徴は活かしながらもある程度一般化できるような形で進めていきたいと考えています。

直井委員

今現在保育園には監視カメラは設置されていますでしょうか。

春原保育課長

現在設置されている保育園はありません。

直井委員

他県のある園では監視カメラが設置されており、保育士が暴力をふるっている状況をすべてカメラで録画されていたということがありました。

深井教育次長

春原保育課長も各園の状況をしっかり見ていますので、そういったことがないような人づくりをしていきたいと思っています。

春原保育課長

各園を小林保育係長と一緒に回らせていただきまして、不適切な保育がニュースとして取り上げられていますので、それに加えて質も向上していきたいと考えており、職員同士でも率直に言い合えるように声掛けをしています。声をかけられた側もしっかりと聞き入れたうえで、その内容はどうかということに対応を検討するという事で考えています。

山口教育長

春原保育課長が常日頃から各園の様子をみていることがよくわかります。

岡澤指導主事

私立の園の良さを情報共有したり、お互いにオープンにして見合ったり考えたりすることとで知り合う場として重要であると思います。

山口教育長

続きまして、(3) 報告に移ります。教育課から順次報告をお願いします。

畑田指導主事

(7) 部活動の地域移行について、報告します。

第1回目の検討会を先日開催しました。第1回目ということで、特に大きな決定事項等はありませんが、全委員が「部活動の地域移行は容易ではない」という共通認識を持ったと思います。スケジュールを立てていつまでにどこまで移行していくのかという見通しを持った方がよいという意見もありましたので、現在その点について検討しています。

運動部の内容については、スポーツ協会と打合せを行う予定になっています。経費については今後も重点的に検討していかなければいけないところであります。受け入れを申し出ていただいているものがサッカーと水泳であり、試行的に行っていく方向になるかと思っています。次回の検討委員会は9月上旬頃を予定していますが、それまでの間にスケジュール等明確にしていかなければならない状況です。

文化部の内容については、現時点では方向性も含めて検討段階であります。令和8年度中に休日の部活動を地域クラブに移行していくという国の方針ではありますが、検討委員会のなかで、本当に休日だけでよいのかという点も疑問視されています。休日だけでなく平日も移行していくことができるよう調整が必要になっています。

他自治体では、地域移行統括コーディネーターを配置し、専属的な担当を置いているところもあるようです。市でも必要になるのかも含めて検討し、調整をしていきたいと思っています。

直井委員

中体連で9つの大会を廃止し、それに代わる大会があるというような話もありましたが、それらはどうなのでしょう。

畑田指導主事

中体連ではなく、協会に任せていくような方向になるかと思っています。最終的には、学校では部活動をしないというようなことを決定していかないと、なかなか難しいと思います。

保護者の声を聴いた際に、部活は学校の教職員がやるのが当然だというような意識があるように感じました。そうではないという意識を持っている方もいらっしゃるかと思いますが、少ないと思います。部活動の実施方法を見直す時期であるということを保護者の方々にわかっていただけるように改めて説明していくことが必要であると思います。

山口教育長

私も指導主事であった頃に小山前教育長と取り組みましたが、なかなか難しいものであると実感しています。一番はやはり保護者の意識改革をどのように行っていくかであると思います。文科省は令和8年度中に移行をという話をしていますし、平日の移行も考えていかなければいけません。市では検討委員会を立ち上げて検討し、検討委員としてスポーツ協会、文化協会、Sany TOMI も参加していただいていますので、少しずつ進んでいくのではないかと感じています。

小林職務代理

サッカー、バスケットボール、バレーボールはスポーツ協会で受け入れが可能であると思っています。さらには柔道と剣道も同じです。地域移行ではなくクラブチーム化です。

畑田指導主事

ただ、経費のことについては検討が必要です。その点を保護者にもご理解いただく必要があります。

小林職務代理

クラブチーム化でありますので保護者に負担していただくということです。

直井委員

ただ、保護者にそのことを十分に理解していただくことが難しいことです。これまで負担していなかったことを新たに負担してもらうことはとても大変です。

小林職務代理

その点については、兼ね合いであると思います。

無料を希望するのであれば、ゆるっとスポーツの方で参加してもらうという方法はどうでしょうか。

現在、バスケットボールがクラブチームで活動していますが、どこからの経済的補助をもらわずに活動できています。この事例がありますので、他の部活動でも活動していくことができるのではないのでしょうか。

土屋教育課長

教育委員会の中でも詳細まで話を詰めていかないと部活動の地域移行を宣言できないところであります。地理的にも離れている東部中学校と北御牧中学校の生徒が、どこで活動していけばよいのか、その際の移動手段はどうしていくのか、といったことも検討が必要です。それらを検討したうえで、宣言するものであると思います。

また、受け皿になると申し出ていただいた団体がありますが、それ以外の部活動につい

ではどうするのかという検討が必要です。ゆるっとスポーツのこともあります。色々な種目の部活動がある中で、廃止せざるを得ない団体も中にはあるかもしれません。そういった団体はどうするのか決めていかなければなりません。方向性を定めた中で進めていかなければなりません。検討会で議論された内容について、教育委員会で最終的に方向性を打ち出していくということになるかと思います。いきなり宣言をしてしまうと保護者の反発もあると思います。

小林職務代理

難しいということはわかりますが、ずっと難しいと言っているわけにはいかないと思います。

土屋教育課長

検討委員会も立ち上げて検討していますので、今後検討が進んでいけば、方向性が見出せると思います。タイムリミットが休日は令和8年度中まで、平日は令和9年度以降ということがあります。こういった視野で動いていくのかもまた検討していくことが必要です。

五十嵐委員

低所得者は費用一律免除といった経済的支援はあるのでしょうか。

現在バスケットボールチームについては全員一律で集金しているのでしょうか。

小林職務代理

全員一律で集金しています。

五十嵐委員

そういった部分の補助もしていただければと思います。

土屋教育課長

部活動は平日毎日活動するというイメージがありますが、それが週に1回や2回に減るといったことも保護者とすればどうなのかといったこともあるかと思われます。

小林職務代理

私は週3で考えています。土日が1日、平日が2日です。この日数が効果的であると考えています。

全体を改めて整理すると、受け皿としてはスポーツ協会が可能です。

問題点は費用面をどのように工面していくのかという点です。さらに、文化系部活動の受け皿も検討が必要です。

各協会の会長の代表と話をしていくことが必要になるかと思います。

山口教育長

部活動の地域移行を進めていくにあたり、いろいろなヒントをもらうことができたと思います。

長岡指導主事

(イ) SOS 相談メール受付状況について、報告します。5月定例教育委員会の後、4件の SOS メールが届いています。そのうち1件についてはタブレットの機能に関する内容でした。他3件についてご説明します。(個人が特定される情報は非公開)

山口教育長

この内容について、ご質問等ありますでしょうか。

小林職務代理

SOS メールであるため、教育委員会での報告ではなく受信したところで委員も見られるようなシステムは構築できませんか。

土屋教育課長

現在、SOS メールが入った段階で、教育長、教育課長、学校教育係長、係員、指導主事、子どもサポートセンター職員の10人程度が受信できるようになっています。その内容について、どのように対応するのかについても、LINE グループの中で情報共有し検討できるようになっています。

小林職務代理

わかりました。

小宮山学校施設係長

(ウ) 滋野児童館建設について、説明します。滋野児童館につきましては、昨年度令和5年度に実施設計をし、今年度は着工となります。工事も始まってきていますので、その概要についてご説明します。

今年度に入ったところで入札を行い、株式会社東建工業に請負事業者が決まっています。先日6月13日に施工業者主催の安全祈願祭を執り行いました。工事の工程としましては、今後基礎工事を行い、8月中旬頃から1月頃まで躯体工事、それから内装の仕上げをしていき、おおむね2月いっぱいには完了となります。ただ、駐車場等の外構工事については、2月頃の厳寒期には難しいことも見込まれますので、舗装工のみ3月になる可能性もあり

ます。いずれにしましても、3月20日頃の引き渡し、4月から開所となる見込みです。

現在は、毎週1回程度業者事務所で定例の打合せと進捗状況等の確認を行っています。今後は年に数回建設検討委員会も開催し、委員会のなかでも進捗状況の報告や現場確認も行いながら進めていきたいと考えています。

続きまして、(エ)夏休みの児童館開館時間の変更について、説明します。現在、平日は午後1時30分から午後5時30分まで、土曜日と長期休みについては午前9時から午後5時30分まで開館しています。

特に長期休みについて、以前から保護者の中で開館を早めてほしいとの要望がありました。今年度に入り、利用者の保護者宛に30分早めた8時30分の開館した場合利用を希望するかどうかのアンケートを実施しました。回答者の約6割強の方が希望するとの回答がありました。このことから、今年度につきましては、試験的に夏休み期間中の平日は、通常より30分早めた8時30分開館とします。夏休みの期間終了後に、保護者の方からご意見を頂戴して今後の開館時間について検討していきます。条例上は9時からの開館となっていますので今後開館時間を変更する場合は条例改正が必要になります。今年度はあくまでも試験的に実施するということであります。

小林委員

何年も前から希望があったことですので安心しています。子どもだけおいて親は仕事へ行き、それを見た公民館長が公民館を開けて入れてくれるということもありましたのでよかったと思います。

五十嵐委員

長期休みは開館時間も長くなりますが、普段の勤務体制で対応できるのでしょうか。

小宮山学校施設係長

職員の人数や職員体制について、基本的に大きく変わることはありません。ただし、勤務時間については、多少調整を行って対応はします。

池田学校人権同和教育係長

(オ)新任教職員人権同和教育研修について、説明します。市に新たに赴任された県費教職員を対象として部落問題について学んでもらうため、フィールドワークを行います。今年度は7月29日の午前中に実施します。加沢集会所、加沢番所跡・加沢馬捨場後、興善寺を見学する予定です。

山口教育長

続きまして、地域づくり支援課の報告をお願いします。

柳橋地域づくり支援課長

(7)令和6年度東御市二十歳を祝う会について、説明します。期日は8月15日にサンテラスホールで開催します。式典は二十歳を祝う会実行委員会が運営します。今年度は22人で組織し、会議を行って準備を進めているところであります。対象者は東御市に住所がある方又は以前住所を置いていた方で今年度二十歳になる方です。教育委員の皆様には改めて通知しますので、ご出席をお願いします。

続きまして、(イ)令和6年度夏休みジュニア・チャレンジ講座等について、説明します。昨年度好評でした講座につきまして、今年度も開催するものであります。内容は、7月30日に滋野小学校で「風力発電機を作ろう」、31日に田中小学校で「ステンドグラスを作ろう」、8月1日に北御牧小学校で「楽しい理科実験」、2日に和小学校で「ステンドグラスを作ろう」、3日に祢津小学校で「電気自動車を作ろう」です。現在申し込み期間中です。

山口教育長

報告ありがとうございました。それでは、6月度定例教育委員会を閉会します。